

道徳学習指導案

海南市立東海南中学校

指導者 T1 北面翔也

T2 宮下敦郎

1. 日時 平成29年9月26日(火)
2. 場所・生徒数 1年A組教室・1年A組35名(男子16名 女子19名)
3. 主題名 自主的に考え、判断し、誠実に実行する。
(内容項目：A-1 自主、自律、自由と責任)
4. ねらい
他律の状態から自主的に判断し自律的に行動した主人公の変容について考えることを通して、自主的に考えて自分を律して生きていこうとする道徳的実践意欲を育てる。
5. 教材名 「町内会デビュー」 出典：道徳読み物資料集 中学校「希望へのかけはし」

6. 主題設定の理由

○主題観

本資料は、学習指導要領に示される内容項目A-1(1)「自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと」に当てはまる。学習指導要領解説には、『自律の精神を重んじるとは、ほかからの制御や命令を待つことなく、自分の内に自ら規律を作り、それに従って行動しようとする気持ちを大切にすることである。『自主的に考え、判断』するとは、他人の保護や干渉にとらわれずに、善悪に関わる物事などについて幾つかの選択肢の中から自分で最終的に決めることである。自律は、自分の内部に自ら規律を作ることに焦点があり、自主は、外部に対し自分の力で決定することに焦点がある。したがって、自主と自律は一体的に考えられることが多いのである。』とある。

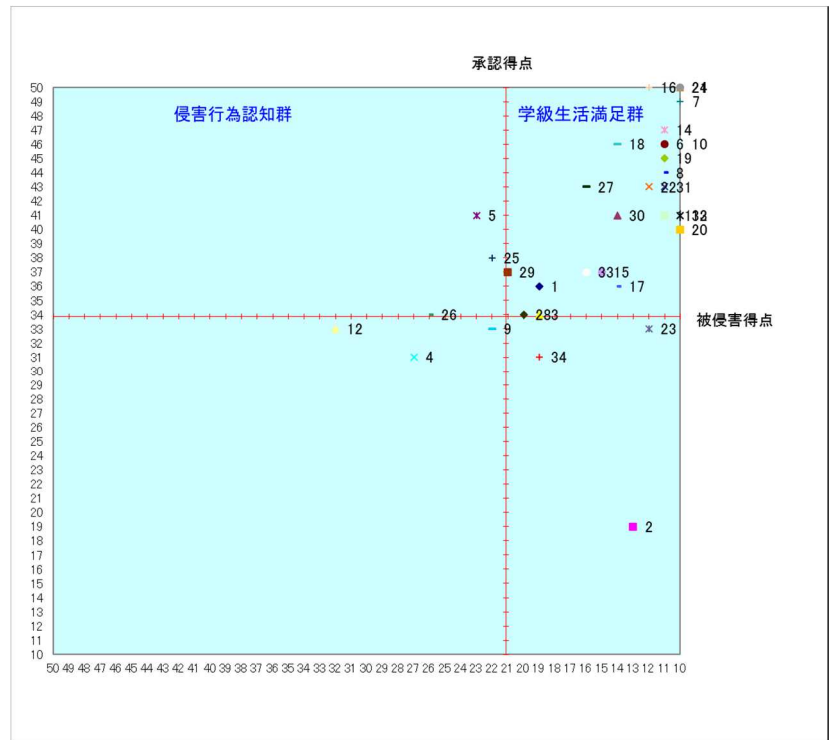
本資料は、町内会の草刈り作業にしぶしぶ参加した明が、お年寄りにとって重労働になる仕事があることに気づき、自ら作業することによって少し大人になったような気持ちになったという内容である。自分で考え、自分の意思で決定すれば、人はそれに対して責任をもち、誠実に実行するようになる。自律的な判断から自信がつき、人間として誇りをもって生きていけるようになる。本資料の山場は、明が「よし。」と声を出し自発的に草や枝の運搬を行うようになった場面である。生徒は明と同じ年代であり、明の立場に自らを重ね合わせて考えやすい。作業に参加することを通じて、他律から自律といった明の心情の変化に気づき、学習指導要領解説に示されるように自主・自律について深く考え、人間としての誇りを持った責任ある行動がとれるようになってもらいたい。

○生徒観

小学校5学年及び6学年段階では、内容項目A-1(1)自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること、A-1(2)誠実に、明るい心で生活すること、についての指導を受けてきている。中学校では小学校の指導内容を更に発展させて指導する必要がある。中学生になると日常生活の中で自由に判断できる場面・状況が増える反面、自分勝手・無責任な行動に陥ってしまうこともあり、これは本学級の

生徒にも当てはまることである。

6月30日（金）に実施したQUアンケートの結果(右図)によると、本学級の71%の生徒が学校生活満足群という結果であった。具体的な生徒の様子としては学校行事や授業での課題に対して前向きに取り組んでいくことができる。また、自分の決められた役割など最低限のことは実践し、その場での正しい行いが何かという判断は行うことができる。一方、他の生徒が行動するまで待つなど他律の部分が多々見られ、集中しなければならない、協力しなければならないといけないと分かっている、周囲の雰囲気や友達に流され誠実な行動がとれないこと、勝手な理由をつけて



すべきことから逃げることを、思いはあるが実践が伴わない生徒も見受けられる。

日常生活は自分の自由な意志で判断し、行動していくことの連続である。自分の行動に責任をもち、その結果に対しては責任を負わなければならないこと、それが人間としての誇りにつながることを実感させ実生活につなげさせたい。

○指導観

導入では、普段の自らの生活を顧み、資料への意識付けを促すことを目的とした。続く補助発問では、明の心情が変化しつつあることを捉え、中心発問につなげられることを意識させるという構成で発問を設定した。ワークシート中に示した円では、明の心情のプラス面をパーセントで表現させる。これにより、表現しやすく、またプラスの気持ちの強さが視覚化され、また具体的にはどんな気持ちなのか併記することで整理しやすくした。また、「プラス面を問う」という、抽象的な視点を設定することによって、補助発問「背筋を伸ばして、大股で学校へ向かった」明は、どんなことを思っていたらう。」でも同じ視点で考え、明の心情の変化をとらえやすくなるのではないかと考えた。

本時の中心発問は、「あなたが、もし明の立場だったら、この後どのような行動をとりますか。」である。「町内会デビュー」という資料の特性上、内容項目C-12「社会参画、公共の精神」やC-13「勤労」について考える内容になってしまいがちである。そこで、あくまでも山場における主人公の変容に焦点を絞り、他人事ではなく自分事として考える効果を高めることをねらい、資料を途中まで配布することによって、自分ならその時にどのような判断をし、どんな理由で、どんな行動をするのかを考える場面を設定した。特に、どんな理由でその行動を選択したのかということに重視したいと考えている。また、それをグループで交流することによって、多面的・多角的捉え、自らの考えを広げることができるのではないかと考える。この場面では、ただ漠然と交流し考えを広げるだけではなく、どんな行動がベストなのかを議論することによって考えを深める。その後、最後まで資料を読み、明がどのように行動したのかを知り、追体験することによって明の成長を実感するとともに、自らの道徳的価値の自覚・深まりにつなげさせたい。

また、中心発問でのグループの話し合いでは、ホワイトボードを活用し、情報を視覚化しイメージを共有しやすくなるようにした。意見を伝え合う雰囲気づくりとして、まず個人で考える時間を設定し、考えを書いて表現させておく時間を確保する。その後ホワイトボードにまとめる形で話を進めることによって、

自然と対話生まれ、発表の際も誰もが言いやすくなる、というねらいがある。

終末においては、成長した明と自分自身とを重ね合わせながら、人間としての生き方について、考えを深めさせたい。

7. 評価の観点

主人公の生き方や他の生徒の意見を手掛かりに、自主的に考えて自分を律して生きることについての考えを自分自身との関わりの中で捉えることができたか。(ワークシート)

8. 本時の展開

	主な学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点および支援
導入	<p>○今日の資料について知る。</p> <p>地域の活動に参加したことがありますか。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加したことがある < 参加したことがない ・清掃活動, 祭りの手伝いなど <p>○ワークシート配付。資料①を配付して読む。</p> <p>資料①：希望へのかけはし P2～P5 10行目まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習に関心を持たせる。 ・地域の活動にどんなものがあるか例を挙げる。
展開	<p>○「ええっ、どうして僕なの」といった明は、どんなことを思っていたのだろう。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんが出ればいいのに。 ・何で大人の中に僕が参加しなければいけないの。 ・しんどいのに嫌だ。 <p>○ザクッ、ザクッと草を刈っている明は、どんな気持ちだったのだろう。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられてやる気が出てきた。 ・いい気分。 ・嫌だった気持ちがなくなった。 <p>◎めあて：あなたが、もし明の立場だったら、この後どのような行動をとりますか。また、その理由は？</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <p>【行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・刈り取った草や枝をまとめて運ぶのを手伝う。 ・このまま草刈りを続ける。 ・ゴミ拾いの様子を見に行く。 <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整美作業で、運ぶことは大変だと感じ、体力のある僕たちがした方が良かったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、参加することに気が進まない明の心情を理解する。 ・作業に参加している明の心情を円グラフで表し、その心情を具体的に考え記述する。 ・主人公の行動を支える意識の変化をつかみ、中心発問につなげる。 ・自分としてはどう行動するのか考えた後、どう行動するのがよいのか、グループで議論する。ホワイトボードを用いて、行動とその理由を数班に発表させる。 ・明の状況を確認し、環境整美作業の例を出しながら、その場をイメージしやすくする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・僕たちの方が体力もあり，動けるから。 ・せっかく吉田さんがアドバイスをくれて，いい調子で続けられているから。 ・自分が他にできることがないか探しに行くため。 <p>○資料を配付して読む。(資料②)</p> <p>資料②：希望へのかけはし P5 11 行目～最後まで</p> <p>○「背筋を伸ばして，大股で学校へ向かった」明は，どんなことを思っていたらう。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になったような気がした。→切り返し「大人になったような気とは，どんな気持ち？」 ・自分が良いと思うことは，どんどんやろう。 ・中川家代表だから，挨拶くらいしなくては。 ・役に立てたことが誇らしい。 ・みんなに認められてうれしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中川家代表として作業に参加したことによって，明が他律から自律の状態へと成長した姿に気付かせる。 ・作業が終わった後の明の心情を円グラフで表し，その時の具体的な気持ちを考えさせる。
終末	<p>○明の変化を通して，感じたことや考えたことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身との関わりを考えながら，本時を振り返る。

9 板書計画

